

2023年11月27日

各支部執行部 御中
組 合 員 各 位

日清製粉労働組合
中 央 執 行 部

第70期 第4回中央執行委員会 報告



日時 : 2023年11月14日(火)11:00から11月17日(金)17:00まで
場所 : 組合本部事務所(赤木、松尾、松本、島津、西村、荒井、武井、佐々木)

<第4回中央執行委員会 議題>

[討議事項]

1. 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討
2. 70周年記念行事に関する検討
3. 11月各社労使協議会対策
4. その他

[報告事項]

1. 支部長・書記長会議
2. フード連合関連
3. その他

[討議事項]

1 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討

今期取り組む「10本の活動の柱」について、以下の通り議論した。

(1) 活動の柱① 「多様な価値観を踏まえた総合的な労働条件の改善」

2024春闘対策(賃上げ)

2024春闘での賃上げ要求については、①物価上昇への対応、②生活水準の維持、③当社の労働条件の優位性の確保という3つの観点と世間動向を十分に見極めて要求の可否を判断していくこととなる。現在の日本経済の一般情勢として、2023年9月時点での消費者物価指数は前年同月比で3%となっており、物価上昇は継続している。このような情勢下で連合は「2024春季生活闘争基本構想」を発表した。「経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済

社会へとステージ転換をはかる正念場であり、その最大のカギは、社会全体で問題意識を共有し、持続的な賃上げを実現することにある。」としたうえで、「経済社会のステージ転換を着実に進めるべく、すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、前年を上回る賃上げをめざし、賃上げ分 3 %以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め 5 %以上の賃上げを目安とする。」との考えを示している。このような一般情勢及び労働界の動向も勘案すると、賃上げ要求は行すべきと捉えている。要求内容については今後の経済情勢やフード連合の方針、他労組の動向、11月の労使協議会で各社の状況を確認しつつ、冷静に検討する必要がある。第5回中央執行委員会(12月12日-14日)においても引き続き討議事項とし、第6回中央執行委員会(1月17日-18日)で賃上げ要求案を決定することとしたい。

2024 春闘対策(一時金)

一時金要求については、「生活給的側面はあるものの、業績反映要素も加味されていることを十分考慮した上で決定すべき」という日清労組の基本的な考え方に沿って検討を進めていく。また、具体的な要求案作成にあたっては、「前年妥結実績(月数)を起点に、当年度の交渉指標(通期業績見通し)と前年度の交渉指標との比較により決定すべき」という考え方に基づいて決定する。第6回中央執行委員会(1月17日-18日)にて、第2四半期決算時点の通期業績見通しを踏まえ一時金要求水準を検討し、第7回中央執行委員会(1月30日-2月1日)にて、第3四半期決算時点の通期業績見通しを踏まえ一時金要求案を決定することとしたい。

(3) 活動の柱④ 「努力と成果が報われる人事制度の運用チェック」

2024年1月の「組合員アンケート」の設問項目について議論した。働き方改革の取り組み(「適正な労働時間管理」の実態、「働きがい」に関する意識、「業務改革」の取り組み進捗)や人事制度の運用チェック、多様な人が働きやすい職場づくり等についてブラッシュアップし、新たに Wellbeing の実現に向けた項目も追加する予定である。

(4) 活動の柱⑤ 「こころとからだの安全サポート」

安全衛生分科A・B委員会について、今後の進め方について改めて確認を行った。今後、各支部と連携しながら取り組みの進捗を確認しつつ、来期以降のテーマについても検討を進めていく。

(5) 活動の柱⑥ 「現場の事実に基づいた本音の労使協議」

支部労使協議会スケジュールについて中執内で共有を行った。12月以降に支部での労使協議会が本格化していくため、昨年度の組合員アンケートの内容などから、各支部での労使協議について、必要に応じ担当中執による支部訪問等を通じてフォローしていく。

(6) 活動の柱⑦「合理化3原則に基づいた労働生産性の向上」

2024 春闘に向けた「頑張りの声」の事前集約を行ったところ、各支部より多くの「頑張りの声」が届いた。意見を取りまとめたいただいた支部執行部ならびにご協力いただいた全ての組合員に、心より感謝申し上げます。本部に寄せられた一つひとつの「頑張りの声」を確認しており、その内容や支部ごとの課題については、各支部にフィードバックしていきたいと考えている。

(7) 活動の柱⑨「地域のボランティアをはじめとした社会貢献活動の推進」

「連合 愛のキャンパ」についての本年度の取り組みについて確認した。また、本部主体の取り組みとして実施予定の「書き損じ・未使用はがき寄付キャンペーン」について内容を確認し、実施時期を討議した。どちらも 1 月下旬を回収メ切として実施を予定している。各支部においては、ご協力をお願いしたい。

(8) ビジョン全体に関する取り組み

【支部活動運営部】：ナイスアクション大賞 for vision

第 70 期の「ナイスアクション大賞 for Vision」について、今後の進め方を討議した。

「ナイスアクション大賞 for Vision」については、12 月 15 日に予定される支部代表者会議で各支部の支部長より発表していただく予定である。

2 70 周年記念行事に関する検討

組合員参加型企画として実施予定の「“あい”をこばに キャンペーン」と「“あい”をとどけよう～ Operation SantaClaus」の進め方および 12 月 15 日に実施される 70 周年記念式典についての事前準備や当日の運営についての確認を行った。

3 11 月各社労使協議会対策

11 月 8 日から 15 日にかけて実施された各社労使協議会について、内容の振り返りおよび質疑案の確認を行った。

[報告事項]

1 支部長・書記長会議

10 月 13 日(金)に UDX 秋葉原ギャラリーNEXT3 で開催。出席者は、各支部の支部長および書記長 36 名。内容は以下の通り。

<プログラム>

【第 1 部：全体説明】

- ・ 本部役員選出
- ・ ナイスアクション大賞 for Vision について
- ・ 70 周年記念行事について

【第2部:外部研修】

- ・ 集团的フォローシップが求められる背景
- ・ フォロワーシップを発揮するには
- ・ ナイスアクション大賞 for Vision の目標設定

<第70期の本部役員選出>

組織強化運営委員及び安全衛生分科A・B委員を以下の通り決定した(氏名/所属支部)。

組織強化運営委員		安全衛生分科A委員		安全衛生分科B委員	
松尾 成樹	本部	松尾 成樹	本部	西村 圭史	本部
島津 浩介	本部	佐々木 孝行	本部	武井 友里恵	本部
前田 貴宏	館林	中島 智昭	上田	佐藤 亮太	東京
斧田 礼人	知多	真鍋 涉	館林	櫻井 賢克	東京
益田 翔	鶴見	西原 隆典	名古屋	八方 隆盛	名営
鈴木 計弘	岡山	斧田 礼人	知多	吉野 理	大阪
		斎藤 努	福岡	白木 宏和	福営

2 フード連合関連

フード連合 製粉部会 第1回三役会議

日時:10月31日(火) 場所:東京都内

製粉部会の今期の実施計画にある視察関連、勉強会等の活動の詳細について議論を行った。
当労組から赤木委員長が出席した。

フード連合 第1回産業政策委員会

日時:10月25日(水) 場所:東京都内

産業政策委員の役割を確認したうえで、2023年度の運動方針や実施計画、取引慣行アンケート集約状況、フードバンク活動の支援、政治活動に関する取り組み等について確認した。また、「業種別部会政策」の推進と実現、「食の安全・安心」の確保に向けた強化月間の振り返りと今年度の取り組みについて協議した。当労組から松本副委員長が製粉部会産業政策委員として参加した。

3 その他

エンジニアリング産業労働組合協議会(CEU) 第1回理事会・分科会

日時:11月14日(火) 場所:東京都内

今期よりエンジ業界の情報入手を目的に加入したCEUは、荏原製作所会議室にて、第1回の理事会・分科会が行われ、分科会では、加盟各労組の取り組みの共有が行われた。
当労組より松尾副委員長、松本副委員長が出席した。

[今後のスケジュール]

- 11/20-12/7 第2回支部訪問
- 12/12-14 第5回中央執行委員会
- 12/15 支部代表者会議・70周年記念式典
- 1/17-18 第6回中央執行委員会
- 1/19 執行部育成研修
- 1/30-2/1 第7回中央執行委員会

以上